

平成 15 年度「特色ある大学教育支援プログラム」
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	千葉経済大学短期大学部	整理番号	2-5-002
応募テーマ	主として大学と地域・社会との連携の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	もう一つの学校「こども造形教室」 ～地域とともにこどもたちの創造性を育む大学教育～		
申請単位	学科単位		
申請担当者	佐久間 勝彦		
<p>(取組の概要)</p> <p>平成4年以来11年間にわたり、地域の子どもたちの造形的な創造性を育み、学年や学校の枠を超えた触れ合いの中で豊かな人間性を培うことを目的として「こども造形教室」を開催し続けている。開催回数は既に100回を超え、毎回100～200名の子どもたちが参加している。</p> <p>本取組は小学校、幼稚園の教員養成を担っている初等教育科全体の協力体制のもとに行われている。毎回50～60名の学生が参加して、担当教授の指導のもとにこどもたちの主体性を引き出しながら造形活動の指導や支援を行っており、教育実習では体験することのできない貴重な特色ある実践教育の場であり、学生の多角的な子ども理解を深め、教職への意欲を高めていく絶好の機会ともなっている。</p> <p>本取組は地域の学校とも連携を図り、地域に深く根を広げ、住民の理解と支持を得ており、新聞やテレビで「新しい大学と地域との共生の取り組み」として紹介され、また千葉青年会議所からも表彰された。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>この取組は、千葉経済大学短期大学部初等教育科の教育目標である「こどもの成長を見守り、その可能性をひらき育てる保育士・幼稚園教師・小学校教師の育成」を実現するため、学長のリーダーシップのもと初等教育学科全教員の協力によって行われ、平成4年以来継続的に行われてきた実績のある取組であります。土曜日を開く「こども造形教室」という形でのこの取組は、地域の児童育成支援型取組の中で、継続性においても、特色性においても他の短期大学が参考にすることのできる優れた取組であります。</p> <p>初等教育科の「基礎造形」科目担当者を中心にして開かれているこの「こども造形教室」は、学校週5日制に対応して、休日土曜日を利用しての地域の子どもたちの造形教室体験と、「教育実習」や「基礎造形」といった専門教科での学生たちの体験がうまく組み合わされ、大学と地域との「知」の交流がうまく行われている一つの具体的なモデルであります。</p>			